

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Sung Uk MOON, et al.

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: RADIO COMMUNICATION SYSTEM, MOBILE STATION, BASE STATION AND RADIO NETWORK CONTROLLER

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS  
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e): Application No. Date Filed

- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

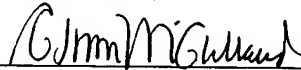
<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
Japan	2002-274144	September 19, 2002
Japan	2003-089240	March 27, 2003

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Masayasu Mori

Registration No. 47,301

C. Irvin McClelland  
Registration Number 21,124

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000  
Fax. (703) 413-2220  
(OSMMN 05/03)

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 2 年    9 月 1 9 日  
Date of Application:

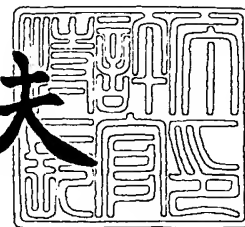
出 願 番 号            特 願 2 0 0 2 - 2 7 4 1 4 4  
Application Number:  
[ST. 10/C] :            [ J P 2 0 0 2 - 2 7 4 1 4 4 ]

出      願      人            株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ  
Applicant(s):

2 0 0 3 年    8 月 1 1 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号    出証特 2 0 0 3 - 3 0 6 4 5 2 9

【書類名】 特許願

【整理番号】 DCMH140355

【提出日】 平成14年 9月19日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04B 7/00

【発明の名称】 移動通信システム、移動局及び基地局

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 文 盛郁

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 中村 武宏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 石井 美波

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 上田 真二

【特許出願人】

【識別番号】 392026693

【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

## 【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9702416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 移動通信システム、移動局及び基地局

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 無線制御装置と基地局と移動局とを具備しており、マルチキャスト通信を行う移動通信システムであって、

前記移動局は、該移動局が属するマルチキャストグループ宛ての制御信号に対して、該マルチキャストグループを識別するグループ識別子を含む応答信号を、前記基地局に送信する応答信号送信手段を具備し、

前記基地局は、同一のマルチキャストグループに属する前記移動局から送信された前記応答信号のうち、1つ又は所定数の該応答信号を、前記無線制御装置に送信する応答信号送信手段を具備することを特徴とする移動通信システム。

【請求項 2】 前記基地局は、前記応答信号を前記無線制御装置に送信する前に、所定期間、該応答信号を保留する応答信号保留手段を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の移動通信システム。

【請求項 3】 前記基地局は、前記移動局から送信された前記応答信号の最初の受信を検出する検出手段を具備し、

前記応答信号保留手段は、前記応答信号の最初の受信から前記所定期間、該応答信号を保留することを特徴とする請求項 2 に記載の移動通信システム。

【請求項 4】 マルチキャスト通信に対応可能な移動局であって、  
該移動局が属するマルチキャストグループ宛ての制御信号に対して、該マルチキャストグループを識別するグループ識別子を含む応答信号を、基地局に送信する応答信号送信手段を具備することを特徴とする移動局。

【請求項 5】 マルチキャスト通信に対応可能な基地局であって、  
マルチキャストグループ宛ての制御信号に対する応答信号で、同一のマルチキャストグループに属する移動局から送信される応答信号のうち、1つ又は所定数の該応答信号を、無線制御装置に送信する応答信号送信手段を具備することを特徴とする基地局。

【請求項 6】 前記応答信号を前記無線制御装置に送信する前に、所定期間、該応答信号を保留する応答信号保留手段を具備することを特徴とする請求項 5

に記載の基地局。

【請求項 7】 前記移動局から送信された前記応答信号の最初の受信を検出する検出手段を具備し、

前記応答信号保留手段は、前記応答信号の最初の受信から前記所定期間、該応答信号を保留することを特徴とする請求項 6 に記載の基地局。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、マルチキャスト通信を行う移動通信システム、移動局及び基地局に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来の移動通信システムにおいて、図 7 に示すように、1 つ又は複数の基地局 1 1 乃至 1 7 が、エリア内の不特定多数の移動局 1 0 1 乃至 1 1 2 に対して共通な情報を一斉に送信するブロードキャスト（B r o a d c a s t）通信が行われている（例えば、非特許文献 1 参照）。

【0 0 0 3】

また、従来の移動通信システムにおいて、図 8 に示すように、特定グループに属している複数の移動局に対して共通な情報を送信するマルチキャスト（M u l t i c a s t）通信が行われている（例えば、非特許文献 2 参照）。

【0 0 0 4】

【非特許文献 1】

3<sup>rd</sup> Generation Partnership Project Technical Specification Group Terminals 著, 23.041 Technical realization of Cell Broadcast Service (CBS), 2000 年 10 月

【非特許文献 2】

3<sup>rd</sup> Generation Partnership Project Technical Specification Group Radio Access Network 著, 25.324 Broadcast/Multicast Control BMC, 2000 年 12 月

**【 0 0 0 5 】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、従来のマルチキャスト通信では、マルチキャストグループに属する複数の移動局が、ほぼ同じ時間に、当該マルチキャストグループ宛ての制御信号を受信し、複数の応答信号が、無線制御装置に到達するため、応答信号の量が増大するにつれて、当該応答信号の受信処理及び制御によって、無線制御装置の負荷が過大になるという問題点があった。

**【 0 0 0 6 】**

そこで、本発明は、以上の点に鑑みてなされたもので、マルチキャスト通信を行う際に無線制御装置の負荷を軽減することを可能とする移動通信システム、これに用いて好適な移動局及び基地局を提供することを目的とする。

**【 0 0 0 7 】****【課題を解決するための手段】**

本発明の第 1 の特徴は、無線制御装置と基地局と移動局とを具備しており、マルチキャスト通信を行う移動通信システムであって、前記移動局は、該移動局が属するマルチキャストグループ宛ての制御信号に対して、該マルチキャストグループを識別するグループ識別子を含む応答信号を、前記基地局に送信する応答信号送信手段を具備し、前記基地局は、同一のマルチキャストグループに属する前記移動局から送信された前記応答信号のうち、1 つ又は所定数の該応答信号を、前記無線制御装置に送信する応答信号送信手段を具備することを要旨とする。

**【 0 0 0 8 】**

本発明の第 1 の特徴において、前記基地局が、前記応答信号を前記無線制御装置に送信する前に、所定期間（例えばランダム時間）、該応答信号を保留する応答信号保留手段を具備することが好ましい。

**【 0 0 0 9 】**

また、本発明の第 1 の特徴において、前記基地局が、前記移動局から送信された前記応答信号の最初の受信を検出する検出手段を具備し、前記応答信号保留手段が、前記応答信号の最初の受信から前記所定期間、該応答信号を保留することが好ましい。

**【 0 0 1 0 】**

本発明の第 2 の特徴は、マルチキャスト通信に対応可能な移動局であって、該移動局が属するマルチキャストグループ宛ての制御信号に対して、該マルチキャストグループを識別するグループ識別子を含む応答信号を、基地局に送信する応答信号送信手段を具備することを要旨とする。

**【 0 0 1 1 】**

本発明の第 3 の特徴は、マルチキャスト通信に対応可能な基地局であって、マルチキャストグループ宛ての制御信号に対する応答信号で、同一のマルチキャストグループに属する移動局から送信される応答信号のうち、1 つ又は所定数の該応答信号を、無線制御装置に送信する応答信号送信手段を具備することを要旨とする。

**【 0 0 1 2 】**

本発明の第 3 の特徴において、前記応答信号を前記無線制御装置に送信する前に、所定期間、該応答信号を保留する応答信号保留手段を具備することが好ましい。

**【 0 0 1 3 】**

また、本発明の第 3 の特徴において、前記移動局から送信された前記応答信号の最初の受信を検出する検出手段を具備し、前記応答信号保留手段が、前記応答信号の最初の受信から前記所定期間、該応答信号を保留することが好ましい。

**【 0 0 1 4 】****【発明の実施の形態】**

(本発明の一実施形態に係る移動通信システム)

図 1 に、本発明の一実施形態に係る移動通信システムの全体構成図を示す。

**【 0 0 1 5 】**

本実施形態に係る移動通信システムは、図 1 に示すように、無線制御装置 5 0 の配下に、4 つの基地局 1 0、2 0、3 0、4 0 を具備している。また、本実施形態に係る移動通信システムにおいて、基地局 1 0 は、移動局 1 1 乃至 1 3 を管理しており、基地局 2 0 は、移動局 2 1 及び 2 2 を管理しており、基地局 3 0 は、移動局 3 1 及び 3 2 を管理しており、基地局 4 0 は、移動局 4 1 乃至 4 3 を管



理している。

#### 【0 0 1 6】

ここで、現在、移動局 1 1 と移動局 1 2 と移動局 2 1 と移動局 4 1 と移動局 4 2 と移動局 4 3 とが、同一マルチキャストグループ A に属しているとする。

#### 【0 0 1 7】

図 2 に、本実施形態に係る移動通信システムで用いて好適な移動局の機能ブロックを示す。複数の移動局 1 1 乃至 4 3 の機能は、基本的に同一であるので、以下、移動局 1 1 の機能について説明する。

#### 【0 0 1 8】

移動局 1 1 は、図 2 に示すように、制御信号受信部 1 1 a と、応答信号送信部 1 1 b と、応答信号生成部 1 1 c とを具備している。

#### 【0 0 1 9】

制御信号受信部 1 1 a は、基地局 1 0 から送信されたマルチキャストグループ A 宛ての制御信号を受信するものである。応答信号生成部 1 1 c は、マルチキャストグループ A 宛ての制御信号に対して、グループ識別子を含む応答信号を生成するものである。応答信号送信部 1 1 b は、生成された応答信号を基地局 1 0 に送信するものである。

#### 【0 0 2 0】

本実施形態において、応答信号送信部 1 1 b 及び応答信号生成部 1 1 c が、当該移動局 1 1 が属するマルチキャストグループ A 宛ての制御信号に対して、当該マルチキャストグループ A を識別するグループ識別子を含む応答信号を、基地局 1 0 に送信する応答信号送信手段を構成する。

#### 【0 0 2 1】

図 3 に、本実施形態に係る移動通信システムで用いて好適な基地局の機能ブロックを示す。複数の基地局 1 0 乃至 4 0 の機能は、基本的に同一であるので、以下、基地局 1 0 の機能について説明する。

#### 【0 0 2 2】

基地局 1 0 は、図 3 に示すように、移動局信号受信部 1 0 a と、制御信号受信部 1 0 b と、マルチキャストグループ識別部 1 0 c と、応答信号生成部 1 0 d と

、送信部 1 0 e とを具備している。

#### 【 0 0 2 3 】

移動局信号受信部 1 0 a は、1 つ又は複数の移動局 1 1 乃至 1 3 から、1 つ又は複数の応答信号を受信するものである。制御信号受信部 1 0 b は、無線制御装置 5 0 から、マルチキャストグループ宛ての制御信号を受信するものである。移動局信号受信部 1 0 a 及び制御信号受信部 1 0 b は、共通であってもよい。

#### 【 0 0 2 4 】

マルチキャストグループ識別部 1 0 c は、受信した応答信号が、同一マルチキャストグループに属する移動局から送信されたものであるかを識別するものである。

#### 【 0 0 2 5 】

応答信号生成部 1 0 d は、移動局から送信された応答信号をそのまま 1 つ又は所定数抽出することによって、無線制御装置 5 0 に送信する応答信号を生成するものである。また、応答信号生成部 1 0 d は、移動局から送信された応答信号を 1 つ又は所定数抽出して改めて成型することによって、無線制御装置 5 0 に送信する 1 つ又は複数の応答信号を生成してもよい。

#### 【 0 0 2 6 】

送信部 1 0 e は、移動局にマルチキャストグループ宛ての制御信号を送信するものである。また、送信部 1 0 e は、応答信号生成部 1 0 d によって生成された応答信号を、無線制御装置 5 0 に送信するものである。また、送信部 1 0 e は、所定期間（例えばランダム時間）経過後に制御信号を送信することができる。なお、所定期間としては、各基地局に対して予め異なる期間を設定してもよい。

#### 【 0 0 2 7 】

本実施形態において、マルチキャストグループ識別部 1 0 c と応答信号生成部 1 0 d と送信部 1 0 e とが、同一のマルチキャストグループ A に属する移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 から送信された応答信号のうち、1 つ又は所定数の応答信号を、無線制御装置 5 0 に送信する応答信号送信手段を構成する。

#### 【 0 0 2 8 】

図 4 を参照して、本実施形態に係る移動通信システムにおいて、無線制御装置

5 0 が、マルチキャストグループ A に属する移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 に対して、所定の制御（例えば、サービス通知）を実施する場合の動作を説明する。

#### 【0 0 2 9】

ステップ 1 0 0 1 において、無線制御装置 5 0 は、基地局 3 0 を除いた 3 つの基地局 1 0、2 0、4 0 に対して、サービス通知、認証の制御信号を送信する。

#### 【0 0 3 0】

ステップ 1 0 0 2 において、基地局 1 0、2 0、4 0（基地局 3 0 を含んでもよい）の各々は、無線制御装置 5 0 からの制御信号を受信し、それぞれの基地局 1 0、2 0、4 0 配下のマルチキャストグループ A に属している移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 に、当該制御信号が到達できるように送信する。

#### 【0 0 3 1】

ステップ 1 0 0 3 において、それぞれの移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 は、マルチキャストグループ A に属していることを識別可能な「グループ識別子」を含む応答信号を生成し、生成した応答信号を基地局 1 0、2 0、4 0 に送信する。

#### 【0 0 3 2】

ステップ 1 0 0 4 において、各基地局 1 0、2 0、4 0 は、各移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 からの応答信号を受信し、当該応答信号が同一マルチキャストグループに属する移動局から送信されたものであるかを識別する。本実施形態では、各基地局 1 0、2 0、4 0 は、上述の応答信号が、マルチキャストグループ A に属する移動局から送信されたものであると識別する。

#### 【0 0 3 3】

この結果、同一のマルチキャストグループ A に属する移動局から、基地局 1 0 は 2 つの応答信号を受信し、基地局 2 0 は 1 つの応答信号を受信し、基地局 4 0 は 3 つの応答信号を受信する。すなわち、基地局 1 0、2 0、4 0 において、合計 6 つの応答信号が検出される。なお、基地局 3 0 は、同一のマルチキャストグループ A に属する移動局から応答信号を受信しない。

#### 【0 0 3 4】

次に、各基地局 1 0、2 0、4 0 は、受信した応答信号の中から、それぞれ 1 つの応答信号のみを、無線制御装置 5 0 に送信する。

#### 【0 0 3 5】

ステップ 1 0 0 5 において、無線制御装置 5 0 は、各移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 から受信した応答信号に応じて、基地局 1 0、2 0、4 0 に対して、サービスデータを送信する。ステップ 1 0 0 6 において、各基地局 1 0、2 0、4 0 は、受信したサービスデータを各移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 に送信する。

#### 【0 0 3 6】

本実施形態に係る移動通信システムによれば、マルチキャスト通信のような複数の移動局が、ほぼ同じ時間に、マルチキャストグループ宛ての制御信号を受信する場合であっても、基地局 1 0、2 0、4 0 が、複数の共通な応答信号を 1 つにまとめて無線制御装置 5 0 に送信することにより、応答信号量が増加しても、当該応答信号の受信処理及び制御に対する無線制御装置 5 0 の負荷を軽減する効果が期待できる。

#### 【0 0 3 7】

(変更例 1)

本発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、図 5 に示すように、応答信号保持部 1 0 f を更に具備する構成にも適用される。

#### 【0 0 3 8】

応答信号保持部 1 0 f は、各マルチキャストグループ A 宛ての制御信号に対する応答信号を、ランダム時間、保持するものである。本実施形態において、応答信号保持部 1 0 f が、応答信号を無線制御装置 5 0 に送信する前に、所定期間、応答信号を保留する応答信号保留手段を構成する。

#### 【0 0 3 9】

応答信号生成部 1 0 f は、応答信号保持部 1 0 f でランダム時間保持された応答信号に基づいて、無線制御装置 5 0 に送信する応答信号を生成する。

#### 【0 0 4 0】

(変更例 2)

本発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、図 6 に示すように、応答信号保持部 1 0 f 及び初期応答検出部 1 0 g を更に具備する構成にも適用される。

#### 【0 0 4 1】

初期応答検出部 1 0 g は、各マルチキャストグループ A に属する移動局 1 1、1 2、2 1、4 1、4 2、4 3 からそれぞれの基地局が受信した最初の応答信号の受信を検出するものである。本実施形態において、初期応答検出部 1 0 g が、移動局から送信された応答信号の最初の受信を検出する検出手段を構成する。

#### 【0 0 4 2】

応答信号保持部 1 0 f が、応答信号の最初の受信から所定期間（例えばランダム時間）当該応答信号を保留し、応答信号生成部 1 0 f が、応答信号保持部 1 0 f でランダム時間保持された応答信号に基づいて、無線制御装置 5 0 に送信する応答信号を生成する。

#### 【0 0 4 3】

##### 【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、マルチキャスト通信を行う際に無線制御装置の負荷を軽減することを可能とする移動通信システム、これに用いて好適な移動局及び基地局を提供することができる。

##### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

本発明の一実施形態に係る移動通信システムの全体構成図である。

##### 【図 2】

本発明の一実施形態に係る移動通信システムで用いて好適な移動局の機能ブロック図である。

##### 【図 3】

本発明の一実施形態に係る移動通信システムで用いて好適な基地局の機能ブロック図である。

##### 【図 4】

本発明の一実施形態に係る移動通信システムの動作を示すシーケンス図である。

。

【図 5】

本発明の一変更例に係る移動通信システムで用いて好適な基地局の機能ブロック図である。

【図 6】

本発明の一変更例に係る移動通信システムで用いて好適な基地局の機能ブロック図である。

【図 7】

従来技術に係るブロードキャスト通信を説明するための図である。

【図 8】

従来技術に係るマルチキャスト通信を説明するための図である。

【符号の説明】

1 0、2 0、3 0、4 0…基地局

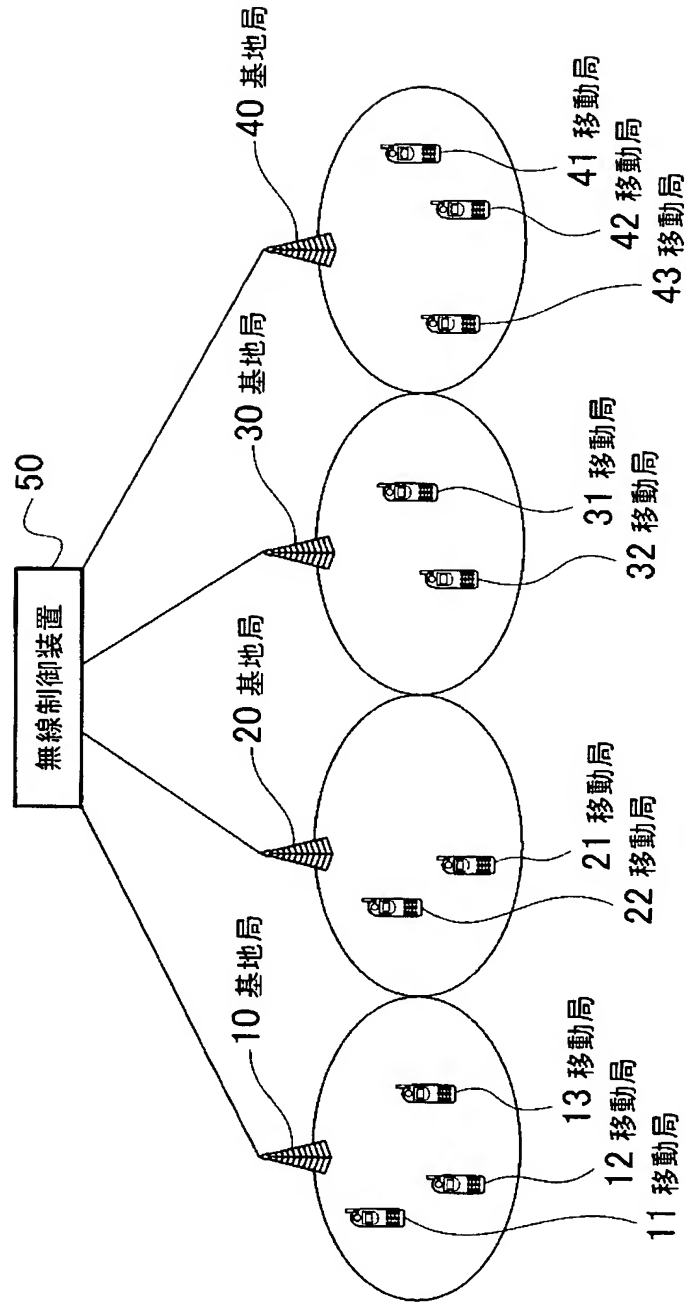
1 1、1 2、1 3、2 1、2 2、3 1、3 2、4 1、4 2、4 3…移動局

5 0…無線制御装置

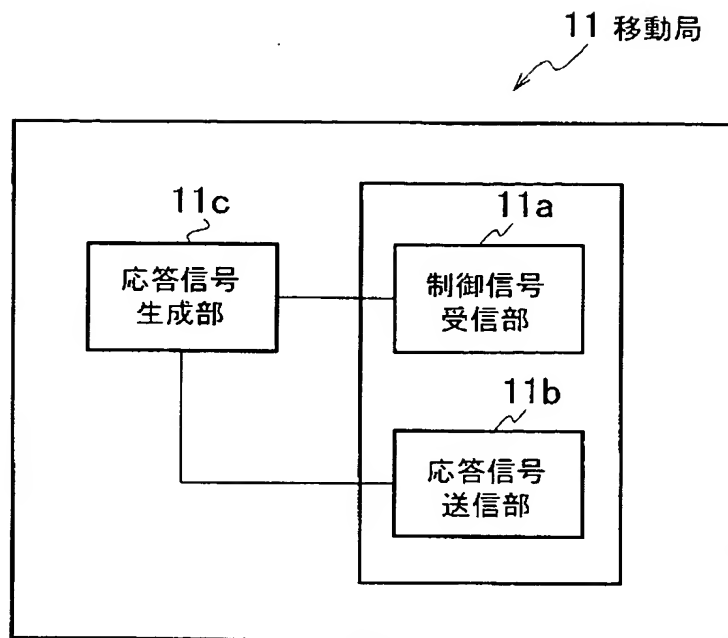
【書類名】

図面

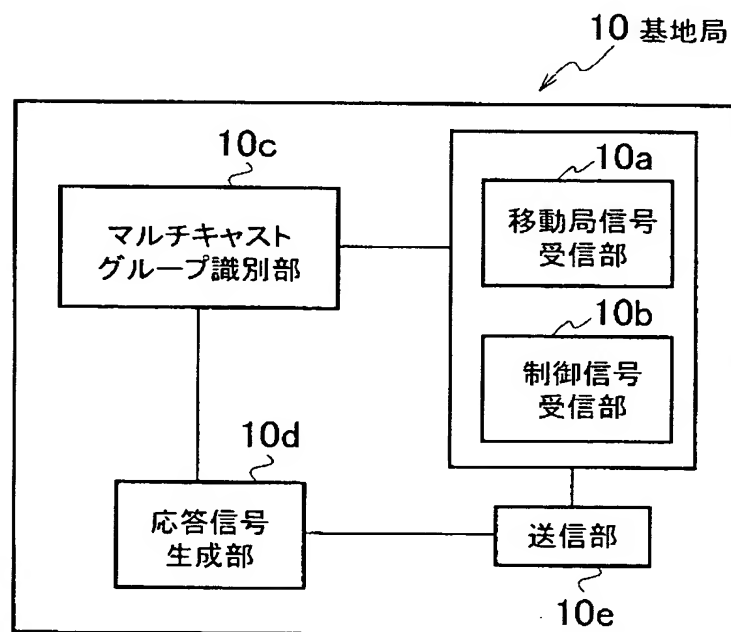
【図 1】



【図 2】

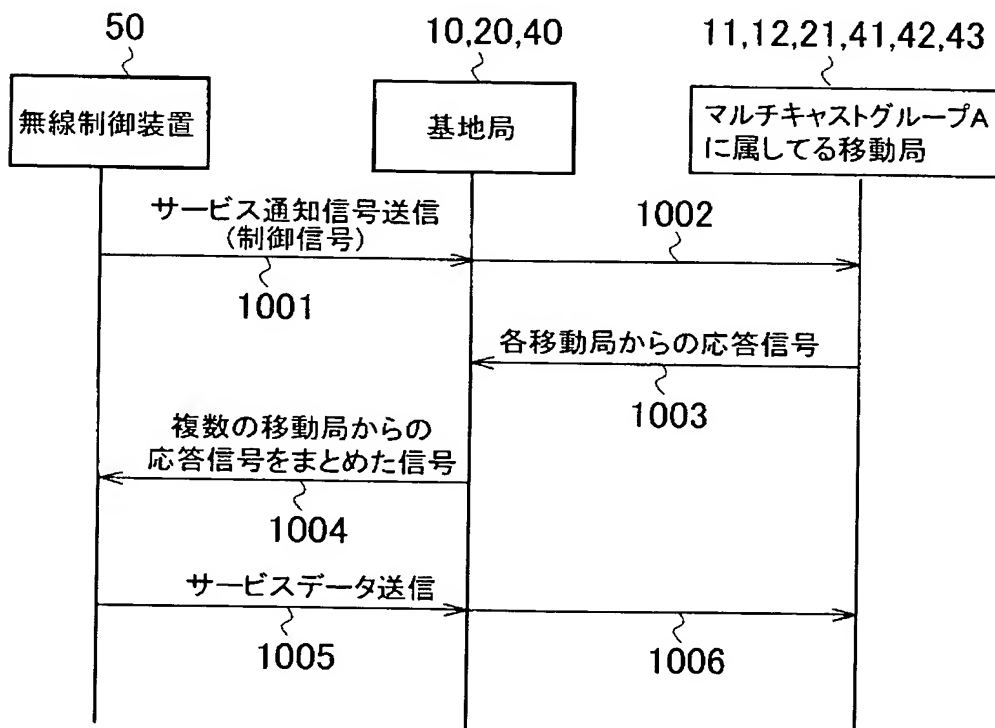


【図 3】

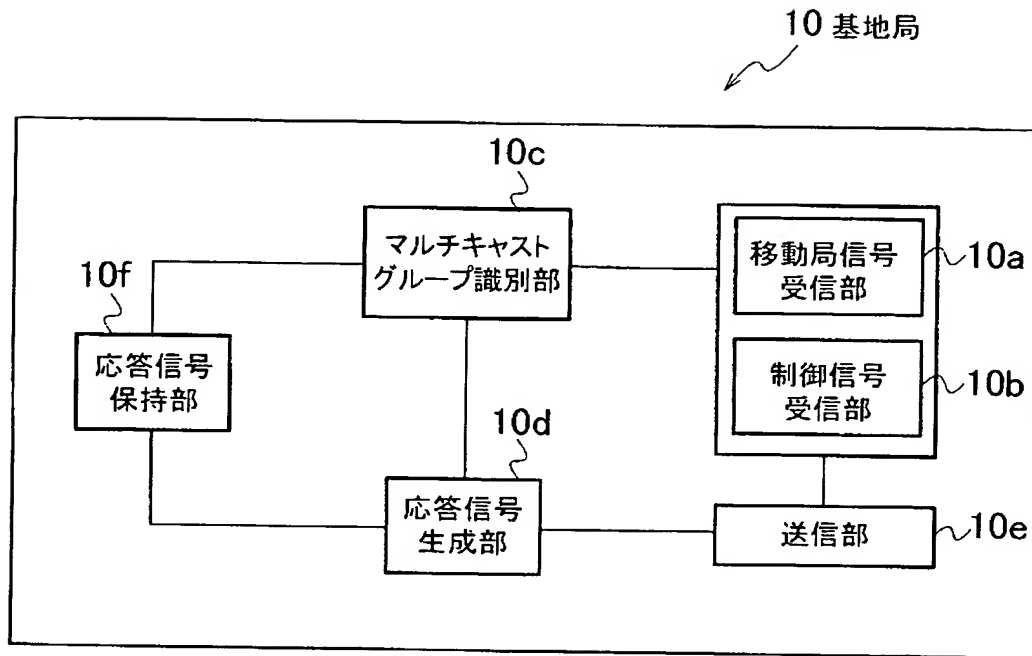




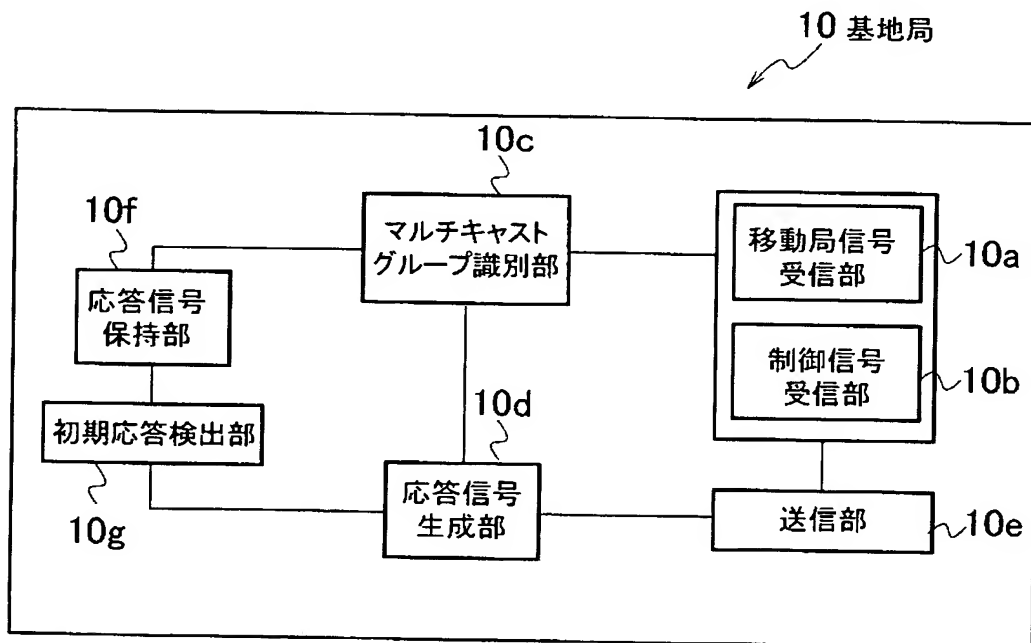
【図 4】



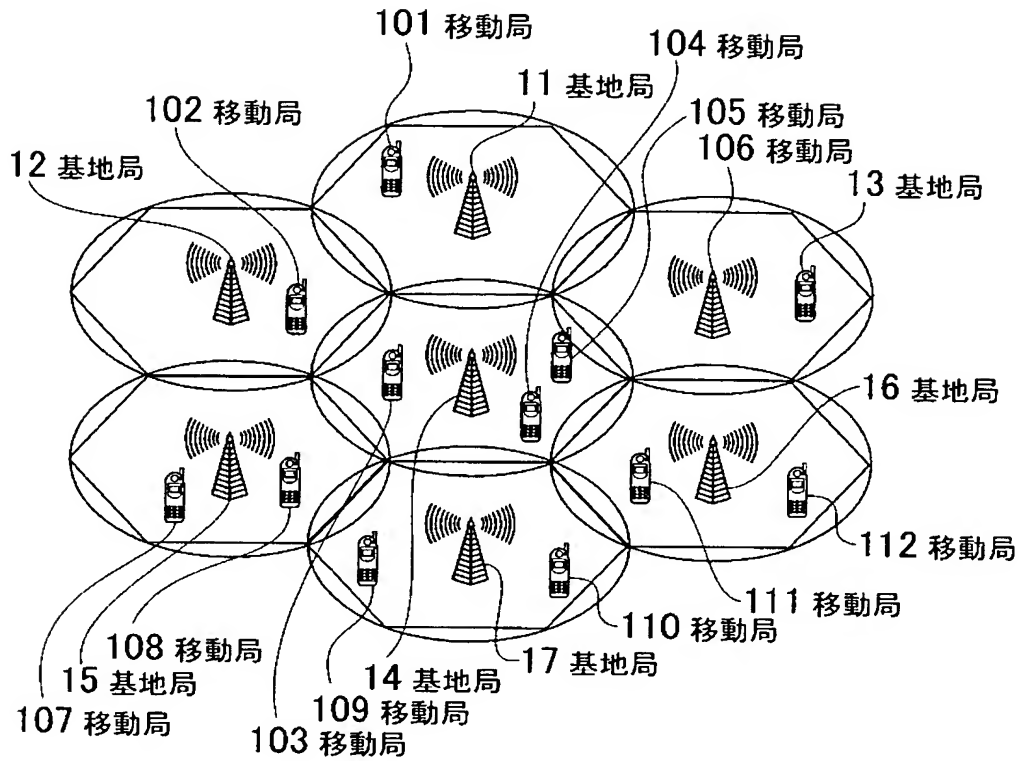
【図 5】



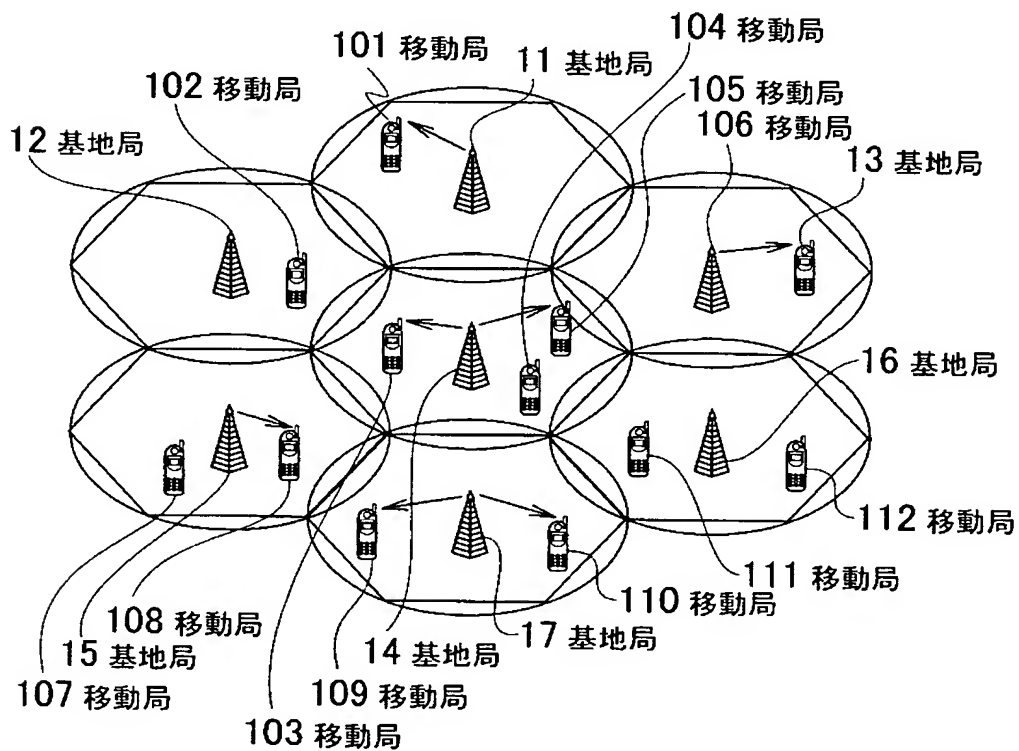
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 マルチキャスト通信を行う際に無線制御装置の負荷を軽減することを可能とする移動通信システム等を提供する。

【解決手段】 本発明の特徴は、無線制御装置 5 0 と基地局 1 0 乃至 4 0 と移動局 1 1 乃至 4 3 とを具備しており、マルチキャスト通信を行う移動通信システムであって、移動局は、当該移動局が属するマルチキャストグループ A 宛ての制御信号に対して、当該マルチキャストグループ A を識別するグループ識別子を含む応答信号を、基地局に送信する応答信号送信手段 1 1 b、1 1 c を具備し、基地局は、同一のマルチキャストグループ A に属する移動局から送信された応答信号のうち、1 つ又は所定数の応答信号を、無線制御装置 5 0 に送信する応答信号送信手段 1 0 c、1 0 d、1 0 e を具備することを要旨とする。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 2 7 4 1 4 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 3 9 2 0 2 6 6 9 3 ]

1. 変更年月日 1 9 9 2 年 8 月 2 1 日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都港区虎ノ門二丁目 1 0 番 1 号  
氏 名 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社
2. 変更年月日 2 0 0 0 年 5 月 1 9 日  
[変更理由] 名称変更  
住所変更  
住 所 東京都千代田区永田町二丁目 1 1 番 1 号  
氏 名 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ